

## 鉄鋼技術情報センター

## 鉄鋼技術情報センター新着 Proceedings

下記資料の照会先：鉄鋼技術情報センター 電話 03-3241-1228

受入 No.	PROCEEDINGS 名	開催地	開催月日	SPONSOR 名
1180	XXXIIIrd International Colloquium on Refractories	Aachen	90.10. 8	Verein Deutscher Eisenhüttenleute
1181	HIGH-Temperature Ordered Intermetallic Alloys IV	Boston	90.11.27	Materials Re- search Society
1182	Structural Applications of Mechanical Alloying	Myrtle Beach	90. 3.27	ASM
1183	Developments Ladle Steelmaking and Continuous Casting	Hamilton	90. 8.26	CIM
1184	Steel Reheat Furnace Technology	Hamilton	91. 8.26	CIM
1185	High Temperature Niobium Alloys	Indianapolis	89.10. 2	TMS
1186	Wear-Corrosion Interactions in Liquid Media	Indianapolis	89.10. 1	TMS
1187	Superalloys 718, 625 and Various Derivatives	Pittsburgh	91. 6.23	TMS
1188	International Conference on Evaluation of Materials Performance in Severe Environment	Kobe	89.11.20	日本鉄鋼協会
1189	World Conference Powder Metallurgy	London	90. 7. 2	Inst. Metals.
1190	Zinc-Based Steel Coating Systems: Metallurgy and Performance	Detroit	90.10. 1	TMS
1191	Second International Symposium Recycling		1990 年	TMS
1192	Steelmaking Conference Proceedings, Volume 74	Washington	91. 4.14	AIME

## ISO 幹事国活動

## 1. 国際規格発行に関する進捗状況

- (1) ISO 規格が発行されたもの：1 件  
ISO 6935-2 (SC 16)：鉄筋用鋼-リブ付棒鋼 (09-01)
- (2) DIS 投票が開始されたもの：2 件  
DIS 4992 (SC 11)：鋳鋼-超音波探傷 (09-12)  
DIS 8458-3 (WG 20)：ばね用オイルテンパー線 (09-12)
- (3) DIS が登録されたもの：5 件  
DIS 630-1 (SC 3)：構造用鋼-鋼板, 棒鋼, 型鋼 (09-20)  
DIS 4950-1 (SC 3)：高降伏点鋼板-一般要求 (09-20)  
DIS 4950-2 (SC 3)：高降伏点鋼板-焼ならしまたは制御圧延機 (09-20)  
DIS 4950-3 (SC 3)：高降伏点鋼板-焼入焼もどし機 (09-20)  
DIS 4952 (SC 3)：耐候性鋼 (09-20)

## 2. TC 17 (鉄鋼) 関係

- (1) 鉄鋼 ISO 運営委員会開催  
9 月 17 日に開催された第 26 回鉄鋼 ISO 運営委員会において、定例議題の他に特別議題として幹事国業務継続引受けの是非について討議され、次回各社の考えを持ち寄って結論を出すこととなった。(3 年に一度定期的に見直すことになっているもの)  
TC 67/SC 5 次回国際会議については別稿参照。
- (2) TC 17 総会準備  
1) 総会出席要請を主目的として中国冶金標準化研究所を訪問した。結果は次のとおり。  
a) 総会議題のうち、生産性、TC 17 Strategic policy statement, ISO 9000 の TC 17 Version について説明の上、討議した。特に注目すべきコメントはなかったが、

TC 17 Secretariat の活動を高く評価していた。

- b) 総会には 3~4 名の出席が期待できる。SC 12, SC 20 会議へも出席の見込み。  
c) 中国及び日本の国際標準化への対応につき意見を交換した。  
d) SC 17 Secretariat 引受けの意志表示あり。当方に正式に連絡があれば、総会で取り上げることを約した。  
2) 資料準備  
総会提出予定の全 34 文書のうち 15 文書の配布を行い、前月の 13 文書とあわせて 28 文書の配布を完了した。  
3) 出席要請  
これまで日本を含め 7 か国は出席が予想されているが、これをさらに増加させるべく有力 P メンバー国に出席を要請するレターを出状した。また、ECISS へも出席勧誘を行った。  
(3) 規格作成期間短縮に関する IEC 提案について工技院へ協力

7 月号で紹介した内容にもとづく Directives の改訂案が、10 月に開催される Technical Board での検討資料として中央事務局より提示され、JISC (事務局：工技院標準部) よりその検討依頼があった。内容を再度整理してみると、WD, CD, DIS の完成目標を新 Work Item の登録より、おのおの 18 か月、2 年、3 年とし、その達成のために

- 1) Proposal stage の前の Preliminary stage を有効に利用して、将来の作業項目の内容、規格作成の手間をよく吟味してから項目採否を決定する。  
2) Editing committee を (必ず) 設置して、会議の決定事項は早急に (会議中または直後に) 修正する。

3) CD 段階の final CD の投票で技術的検討を終え、DIS 投票は技術的コメントなしの Yes/No の追認投票とする。

を、実施するというのが主要なポイントである。

検討の結果、(1)、(2)は特に問題はないが、(3)については実質的には DIS を final CD, proof を DIS と読み替え、投票期間をおのおの 6 か月→3~6 か月、1 か月(定めなが実績)→4 か月と改めたにすぎないのであり、ただそれだけのために Directives の Committee stage と Approval stage を大幅に書き替えているということが判明した。Directives は昨年大幅改正されたばかりでもあり、読み替えなしで改訂部分を最少限に止めるよう、JISC へ依頼した。

#### (4) SC13—鉄道車輛用材料—

##### 第 14 回国際会議開催

1991 年 9 月 10 日~12 日、デュッセルドルフにて首記会議が開催された。結果は次のとおり。

1) WI1-299 (ISO 5948 の見直し)-Consensus

2) WI274 (ISO 1005-6 の見直し)-Consensus

3) WI300 (ISO 1005-1 の見直し)-Consensus

4) WI301 (1989 年に見直し作業がキャンセルされたもの—早急な見直し要望は会議でも無く、次回の見直しに日本コメント(連鑄材を可とする)を審議する。

5) WI316(ガイドライン)アンケートにつき日、英、チェコは回答をよこしているが議長の要望で独、米も本年末まで回答をくれることとなりその後審議する。仏は難色。

6) 5 年見直し—1005-2, 1005-4, 1005-8, 1005-9, 6933 いずれも Confirm とする。投票結果もこのようになっている。

7) UIC より板ばねの規格化要望あり、まず材料から SC4 でやる。

8) 次回会議—とくに急ぐものもないので事務局に一任する。

#### (5) SC16—鉄筋用鋼—

下記 DIS の投票結果が中央事務局より送付されてきた。

DIS11082: コンクリート補強用溶接金網: 認証方法

投票結果は P メンバー投票 12:1 (棄権票 3)

全メンバー投票 15:2 (棄権票 4)

の賛成多数で「承認」である。日本は棄権票であった。

### 3. TC17/SC1 (化学成分分析) 関係

(1) Publication stage (Stage 5): 新規格の発行はなかった。

1) TR9769 (鉄鋼分析方法の概要) (3rd edition); proof 返送 (08-12), 中央事務局にて印刷中。

(2) Approval stage (Stage 4):

1) DIS10697-1 (sol Ca-原子吸光法); 投票結果に対するコメント処理, テキスト修正後, SC1 議長の裁定を受けて中央事務局へ返送済 (09-05)。

2) DIS10714 (P-吸光光度法); 6 か月投票結果受領, 100% 賛成 (09-30)。

(3) Committee stage (Stage 3):

1) CD10698 (Sb-無炎原子吸光法); 最終 CD 案及び無炎原子吸光法通則内容検討, 修正案作成. コンビナー宛返送。

2) CD10702 (N-蒸留滴定法); 最終 CD (案) 及び確認事項検討報告書の SC1 内確認投票結果のコメント処理. 最終 CD を Editing Committee にて仏訳中。

3) CD4830-4 (C-燃焼電量法); 1992 年のロンドン会議まで取扱い保留。

(4) Preparatory stage (Stage 2):

1) WG12 (Mn-プラズマ) (CD10278); 共同実験開始 (09-20)。

2) WG17 (Ca-原子吸光法) (CD10697-2); 共同実験中, 実験データ回収中。

3) WG20 (GC-燃焼赤外線吸収法) (CD10719); 共同実験終了, コンビナーが報告書作成中。

4) WG21 (Al-原子吸光法) (CD10699); 共同実験中, 実験データ回収中。

5) WG22 (Mn-原子吸光法) (CD10700); 共同実験終了, コンビナーが報告書作成中。

6) WG25 (S-吸光光度法) (CD10701); フランスからの共同実験データ未回収のまま統計解析済, なおフランスへデータ催促 (09-27)。

7) WG27 (N-融解熱伝導率法) (CD10720); 共同実験要領及び試料受領 (08-22), 共同実験開始 (報告期限 10 月末日)。なお実験条件の一部修正をコンビナーが考慮中との情報受領 (09-27)。

8) WG28 (Si-重量法); 共同実験報告書作成中。

9) WG29 (Co-原子吸光法); 共同実験データ一部未回収のまま統計解析終了。

10) WG30 (Co-電位差滴定法); 共同実験中, 日本の実験結果報告済。

11) WG31 (Mo-吸光光度法); 共同実験報告書作成中。

12) Ad hoc group (Low C); 予備共同実験中, 日本の実験結果報告済。

(5) 特記事項 (順不同)

1) 高含有率 S {0.1% (m/m)~0.4% (m/m)} の燃焼赤外線吸収法 (ISO 4935-2 案) についてフランス側担当者と協議, 日本案についてフランス側が検討することを確約 (09-27)。

2) ISO 377-2 (鋼材-試料及び試験片の採取と調製) (第 2 部: 化学成分定量用試料) 改訂版案文について英国及びフランス関係者と協議 (09-26, 27)。

3) AAS 及び ICP の通則及び規格のレイアウトについての ISO 規格化の進め方を TC47 (化学) 事務局 (NNI-オランダ) 及び TC155/SC3, 4 (ニッケル及びその合金の分析) 事務局 (カナダ) と協議 (09-25), 於ジュネーブ。

4) ヨーロッパ出張, 9 月 21 日出発, ジュネーブ (中央事務局), マンチェスター (BSI), パリ (AFNOR) を訪問して 9 月 29 日に帰国。

5) ACCURACY '91 に参加 (於 ISO 中央事務局) (09-23, 24)。

6) SC1 の将来課題について英国及びフランスの関

係者と協議 (09-26, 27).

### 5. TC 67/SC 5 (油井管) 関係

#### (1) TC 67/SC 5 への中国の参加

TC 67 総会 (6 月 6 日開催) での中国代表の希望にもとづき、中国訪問時に State Bureau of Technical Supervision に対し、TC 67/SC 5 に P-メンバーとしての参加を働きかけた。積極的に検討したいとのこと。

#### (2) 第 7 回 TC 67/SC 5 諮問部会 (9 月 4 日開催)

1) TC 67/SC 5/WG 1 (油井管規格原案作成) への日本コメントを討議し、9 月 20 日までにコメント案への各社意見を求めることにする。

2) 各国意見への対応として、化学成分、衝撃値、真

円度、非破壊検査への日本の見解を取りまとめることにする。

#### (3) 次回国際会議日本開催の件

前回の国際会議で次回開催地の申出がなかったため、幹事国として日本での開催を検討しているが、本件を鉄鋼 ISO 運営委員会にて審議願ひ、同委員会としては承認された。

### 6. 国内会議

TC 67/SC 5 諮問部会 : 9 月 4 日, 奈良部会長, 他 8 名

SC 1 諮問部会 : 9 月 12 日, 佐伯主査/部会長, 他 8 名

鉄鋼 ISO 運営委員会 : 9 月 17 日, 山本委員長, 他 21 名



## ■ '91, 92 会員名簿発行のお知らせ ■

本会は、11 月中旬「'91, 92 会員名簿」を発行し、予約者に送付いたしました。今回発行の名簿から、利用しやすいように内容も種々追加されております。

購入希望の方は下記へお申込み下さい。

### ＜名簿の構成＞

#### I 総 表

1. 会員数推移
2. 国内会員地域別分布表
3. 外国会員地域別分布表
4. 維持会員会社所属個人会員数

#### II 会員名簿

1. 名誉会員
2. 個人会員 (名誉, 賛助, 正, 学生)
3. 外国会員
4. 維持会員

#### III 関連団体等名簿

1. 維持会員会社, 主要事業所
2. 国公立試験・研究所
3. 大学 (附属研究所, 短期大学を含む)
4. 高専
5. 国内関連団体
6. 外国関連団体

#### IV 索 引

1. 支部別, 県別
2. 企業別
3. 会員団体

#### 4. 外国会員国別

#### V 関連規程

1. 定款
2. 定款施行細則
3. 会員団体組織規程
4. 支部規則

#### VI そ の 他

1. 歴代会長
2. 組織図
3. 役員および委員 (支部含む)
4. 事務職員

### ● 名簿内容に関する問合せ先 ●

日本鉄鋼協会 総務室 : 亀井, 編集・業務室 : 大西 (TEL 03-3279-6021(代))

☆定 価 15,000 円 (会員割引価格 8,000 円) (いずれも送料, 消費税本会負担)

☆申込方法 : 下記いずれかの方法でお支払い下さい。請求書の必要な方は FAX にてお申出下さい。

- 郵便振替 東京 7-193 番
- 銀行振込 第一勧業銀行 東京中央支店 (普) 1167361
- 現金書留

※銀行振込の際は、入金後に、送金内訳、請求書番号、送金先などを必ずご連絡下さい。

☆申込先 : 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 日本鉄鋼協会 編集・業務室 太田  
TEL 03-3279-6021 (代表), FAX 03-3245-1355